

Shinwa Forum

ともに学び ともに成長する

Forum

vol.64

Contents

- 親和フォーラム vol.64
- 2~3 …… 学長挨拶
 - 4~5 …… 学生インタビュー
 - 6~9 …… 研究室訪問
 - 10 …… 児童教育学科特集
 - 11 …… 国際文化学科特集
 - 12~13 …… クラブキラリ
 - 14 …… 通信教育部
 - 15 …… 就職状況・キャリア支援
 - 16 …… TOPICS



TOPICS

女子バレーボール部 全日本インカレ 創部初の第4位入賞!!

2022年11月29日~12月4日に開催された「第69回秩父宮妃賜杯 全日本バレーボール大学女子選手権大会」において本学バレーボール部が創部初の第4位という結果を成し遂げました。大会を終えた選手たちからは「この全日本インカレでは1回戦から毎試合すべて熾烈な戦いで、簡単に取れるセットはない中、私たちは、どの試合も常に『痺れるこの瞬間を楽しもう!』『最後の2点を取り切れればいいんだ!』などの言葉を選手同士で掛け合いながら『勝つ』という気持ちを強く持ち、1戦1戦を29人全員で戦いました。新チームが始動する際に掲げた目標は<全日本インカレベスト8>でした。しかしそれを超える創部初の第4位を勝ち取り、神戸親和女子大学の歴史に刻むことができました。今大会も多くの方が応援にきてくださったり、応援メッセージをいただいたり、それが私たちのパワーになっていました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。応援ありがとうございました。」と感謝の気持ちが述べられました。新年度における活躍にもご期待ください!!



仲間とともに戦う選手たち

企業連携 (心理学科×早駒運輸株式会社)

本学と早駒運輸株式会社は様々な産学連携事業を行っています。今回は心理学科の学生が、「海の方で神戸を元気に!ハーブの香りで心に癒しを!!」をキーワードに、本学の学生と早駒運輸の社員の方々と10カ月かけて取り組んできた、①ハーブとフルーツのアイスキャンディー「Herb Harbor ICE POP」②ハーブが優しく香るポタニカルサシェ「マリフロートサシェ」を商品開発しました。両商品は2022年7月22日(金)より「boh boh KOBE」船内で発売開始となり、各メディアにも取り上げられました。また、発表前には、早駒運輸が運営する「boh boh KOBE」船内で数多くの方々の皆様にお越し頂き、発表会を行いました。発表会では、緊張した面持ちの学生たちでしたが、本事業の取り組みに関するプレゼンテーションや司会進行にも挑戦しました。商品開発から商品発表までの過程は貴重な経験になったと思います。



「boh boh KOBE」船内での記者会見の様子

スポーツビジネスコンテスト「最優秀賞」受賞

2022年12月17日(土)に「ヴィクトリーナ姫路・大学コンソーシアムひょうご神戸 スポーツビジネスコンテスト(ナガセケムテックス株式会社協賛)」の最終プレゼン大会が開催され、スポーツ教育学科高松ゼミの3年次生が「最優秀賞」を獲得しました。本コンテストは兵庫県内大学生が地元プロスポーツの課題解決に挑むというコンセプトのもと開催され、8月には、ヴィクトリーナ姫路が抱える事業課題が伝えられスタートしました。その後、9月の企画提案プレゼン、12月3日・4日のヴィクトリーナ姫路のホームゲームでの企画実施、そして最終プレゼンといった、約4ヶ月にわたって行われました。兵庫県内の大学から約70名が参加する中、高松ゼミから2チーム(各4名)を編成して参加していました。最優秀賞を受賞したチームは、姫路の地元商店街との飲食物のコラボ商品開発や食べ歩きマップを作成するなど、今までなかった「商店街とヴィクトリーナ姫路の関係性構築」を行った点が評価されました。大変貴重な経験を積んだ学生たちにはこの経験を生かして、今後の成長や活躍に期待したいです。



最優秀賞受賞の様子

女子相撲同好会 全日本選手権大会 個人戦 第3位

2022年10月2日に開催された「全日本選手権大会」において、長門美咲さん(スポーツ教育学科1年次生)が個人戦(中量級)において、見事第3位に入賞しました。女子相撲同好会は、創部2年目の新しい団体で、部員数は3名とまだ小さな団体ですが、日頃の練習の成果を見事第3位に入賞を果たしました。2023年度は、新たに1名の新入生を迎え、始動いたします。引き続きご声援のほどよろしくお願いいたします。



表彰式(右から2番目が長門美咲さん)

ファミリー割引制度の導入!

本学で実施するすべての専願入試における合格者で、親族2親等以内(祖父母・父・母・兄弟・姉妹)に本学、親和中学校・親和女子高等学校の在学学生または卒業生がいる場合、入学金全額(230,000円)を免除いたします。卒業生・在学学生のご兄弟・ご姉妹・お父さま等で、本学への進学をご希望の場合は、ぜひご利用ください! 2024年度入学試験の内容については、右記QRコードを読み取って詳細をご確認ください。



YouTube 神戸親和女子大学へ、「ありがとう」。

本学が「神戸親和大学(男女共学)」として新たにスタートしたことに伴い、記念動画を作成いたしました。女子大学として最後の「学位記授与式」、「神戸親和大学」としてはじめての「入学式」及び新年度の学内の雰囲気、そして本学OGのメッセージを撮影した内容となっています。57年の歴史を閉じる「神戸親和女子大学」への感謝の気持ちも込められていますので、OGの皆様にとっても見ごたえのある動画となっております。ぜひご視聴ください!



2. 入学時からスタートするキャリア教育

ワーク&ライフデザインⅡでは、自分自身を、そして未来を見つめます

本学のキャリア教育は、就職のためだけでなく、未来の自分の生き方・人生を視野に入れつつ、現在の大学での学びを考えていきます。本年度から新たに始まったワーク&ライフデザインⅡは、「自分自身を知り、可能性に気づき、未来を拓くカギを手に入れる」ための授業です。人生で出会う様々な扉を開ける「マスターキー」を自分自身の中から育てていくために、様々なワークが用意されています。授業を通して自分らしく学ぶ、働く、生きるとはということなのかを探っていきます。(「ワーク&ライフデザイン」の様子は、P.15を参照) 同時に、キャリア形成プログラムとして「実践教育活動」、「プロジェクトベースラーニング基礎」、「キャリアデザイン」、「インターンシップ」、「職業能力基礎」などの授業が用意され、キャリア形成を学外での実践活動と学内での座学との往還学習で行っていきます。

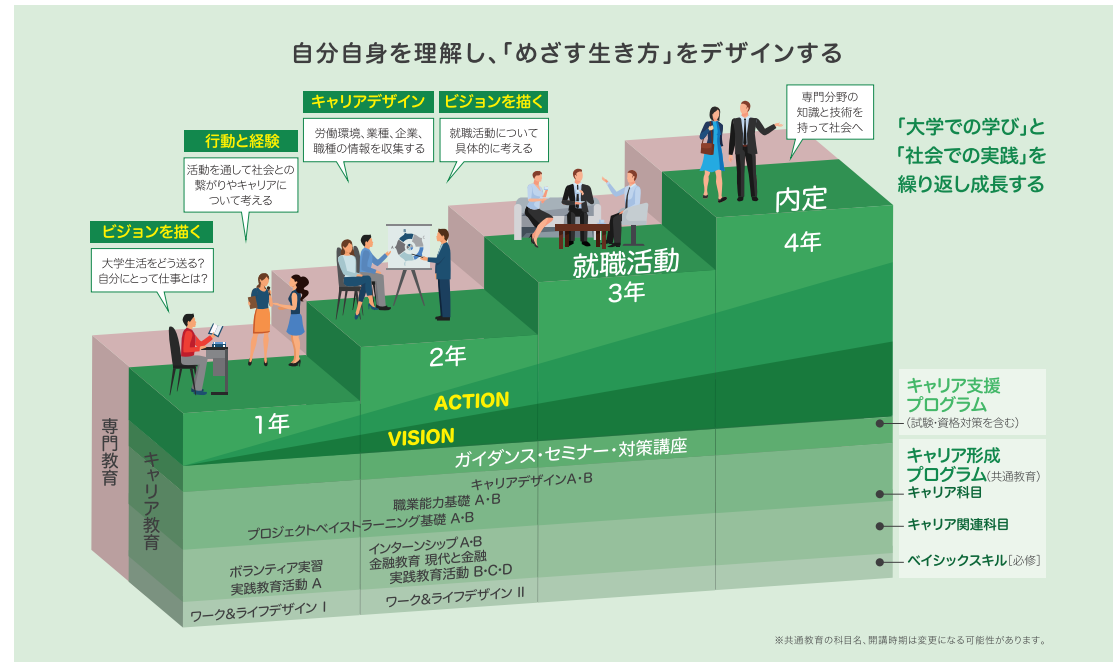


図2. キャリア教育の流れ

3. 「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」

2022年度より、これからの社会に必要な情報活用能力を修得し、データ思考を身に付け、問題解決できる人材を育成するため、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」を共通教育で展開しています。また、国際文化学科情報コミュニケーションコースを開設し、ICTの知識とスキル、課題解決のための情報活用能力を身につけた人材の育成をめざしています。

4. 高大連携科目「探究」と探究入試

2023年度より、高等学校との連携のもと、高校生と大学生が協働して「探究」学習を行う高大連携科目「探究」が始まりました。探究学習は「学ぶこと」の中核となる「問いを立てること」からスタートし、能動的に学習をデザインし、またそれを修正していきます。学生たちは高校生とともに本科目で探究の学びの経験を積むことで、学ぶことの本質を捉え、その学びをどう深めていくことができるかを体験的に理解していきます。高校生は、本授業を修了後、その成果を本学の探究入試に活用することができます。

若者のエネルギーが社会の未来を変える

常識の壁を飛び越え、これまで誰も思いつかなかったことを実現できるのは若者だからこそ。若者のエネルギー、未来への好奇心、チャレンジ精神は幾多の困難を乗り越え、変革を起こす力となり、社会の未来を変えていくでしょう。私たちは学生一人ひとりが内に秘めている力を信じ、学生自身がその可能性を最大限伸ばすことができるようにサポートしていきたいと思っています。

神戸親和大学 学長
三井 知代



2023年4月、神戸親和大学の新たな歴史が始まりました

「新たな価値を創造し、社会の未来を変える人に」

神戸親和大学は、教育のパーパス「社会の新たな価値を創造する人材の育成」を掲げ、「ともに学び ともに成長する大学」として新たな歴史を刻み始めました。変化の激しい時代、私たちが様々な困難を乗り越えていくためには、これまでの常識や社会の枠組みを変えるような「新たな価値」を創り出す必要があります。「新たな価値」を創造することにより、社会の未来を変えていく、そのような人を神戸親和大学は育てていきたいと考えています。

入学式

2023年4月1日、神戸ポートピアホテルにおいて「神戸親和大学」としての初めての入学式を挙行了しました。学部生467名(男子学生159名)、編入生1名、大学院文学研究科心理臨床学専攻9名、教育学専攻6名が入学しました。通学部学科別では、文学部国際文化学科63名、心理学科75名、教育学部児童教育学科192名、スポーツ教育学科137名の入学者となりました。式典では来賓、保護者、同窓生をはじめ多くの関係者の方々のご臨席のもと、第一部はコーラス部・音楽ゼミ生による学生愛唱歌、入学生代表宣誓・代表署名、学長式辞、来賓祝辞、学歌と続き、第二部は本学にゆかりの深い方々からのお祝いメッセージ、学科からの歓迎ビデオメッセージ、音楽ゼミによる祝演奏が披露されました。入学式の様子は地元新聞、ニュース番組等で取り上げられました。



共学に続く教育改革

1. 新たな実践教育プログラム SAIL

2023年4月より、実践教育プログラムSAIL (Shinwa Action Integrated Learning)を開始しています(図1)。SAILは学生の学外での活動を総称し、企業や自治体との協働プログラム、インターンシップ、ボランティア、教育実習や施設・病院実習、海外留学・研修などが含まれます。学内と学外の相互の学びから学生は「他者との協働による課題解決力」、「社会の変化と多様性への対応力」、「DX時代に貢献する知識とスキル」を身につけます。これらの学外での実践的な学びは、一定の条件を満たせば単位が与えられます。



図1. 実践教育プログラムSAIL

Q. 児童教育学科



1年次生
豊田 明里さん

1 神戸親和大学を選んだ理由を教えてください。
「先生になるなら、親和!」として定評があり、教員免許取得や教員採用実績にも魅力があったからです。さらに部活動も活発に活動していることも決め手となりました。

2 神戸親和大学の印象は、入学する前と入学後は違いましたか?
入学前にもっと1人で勉強を熱心に取り組むものだと思っていましたが、実際に入学してみると色々な行事があり、授業では友達とグループワークを行いながら、教育観においてディスカッションをするなど体験型の授業が多く楽しく過ごしています。

3 神戸親和大学に実際に入学してどのように思いましたか?
友達がみんなフレンドリーで授業が楽しいです。

4 神戸親和大学でこれからやりたいことを教えてください。
5月に実施された「親和行事」での運動会がとても楽しく、仲間とともに活動する楽しさを改めて実感しました。今後も、友だちと一緒に、学科のみんなで盛り上げられるような企画など実施してみたいです。

5 今現在の将来の夢について教えてください。
小学校3年生から6年生まで担任をしてくださった先生のおかげで、4年間楽しく過ごせたので「小学校の先生になりたいな」と思うようになりました。その後、他の進路も考えるようになりましたが、お母さんや高校の先生など周囲の人からの勧めもあって、「小学校の先生」をめざしています。



Q. スポーツ教育学科

1 神戸親和大学を選んだ理由を教えてください。
小さいころからの夢であった「消防士になりたい」という夢と、野球を続けてきて思い描いた「体育の教員になりたい・指導者になりたい」という夢を両方追いかけることができ、可能性を広げられることに魅力を感じ選択しました。元々女子大ということもあり、不安もあったけど、教員採用実績や公務員対策もあることから、自分の夢実現を最優先し、親和を選びました。

2 神戸親和大学の印象は、入学する前と入学後は違いましたか?
入学する前は、男子学生がいるのか心配だったけど、入学してみると仲の良い友達もでき、楽しく過ごしています。また、授業においても、今までは決められた科目を学んでいたけど、大学では自分の興味のあるカリキュラムの中で、授業が展開されているので、充実度が高いと感じています。

3 神戸親和大学に実際に入学してどのように思いましたか?
学科内には、いろんな競技をしてきた友だちがたくさんいるので、自分がやってきた野球とは違うスポーツの特性の違いや、反対に共通点もあったりなど、スポーツを新たな視点で考えたり、スポーツ談義がおもしろいと感じています。日々の新しい発見が楽しいです。

4 神戸親和大学でこれからやりたいことを教えてください。
友達と沢山遊ぶ、旅行に行きたいです!

5 今現在の将来の夢について教えてください。
保健体育の教員免許状の取得をめざし指導方法等の観点を学びながら、消防士になれるように日々がんばっていきたいです。



1年次生
川岡 駿月さん



これからの1期生の活躍にご期待ください!

神戸親和大学 1期生

first interview

初インタビュー!!



みんなに聞いてみた!!

神戸親和大学に入学してみて・・・どう??
神戸親和大学の記念すべき1期生のみなさんに、大学に入る前のきっかけや実際に入学してみて感じたこと、これからの抱負などの質問に答えてもらいました。

Q. 国際文化学科



1年次生
LIU XUEKAIさん

1 神戸親和大学を選んだ理由を教えてください。
オープンキャンパスに参加した時に、大学の先生が優しく、長年の教育経験があることと、外国人向けの特別な日本語コースがあり、日本語に不安がありました。サポートしてくれることに安心感がありました。

2 神戸親和大学の印象は、入学する前と入学後は違いましたか?
入学してからも、入学前の印象と同じく、先生たちが優しくサポートしてくれるので楽しく過ごしています。

3 神戸親和大学に実際に入学してどのように思いましたか?
大学はとても自由でいいなと感じます。図書館は自由に利用できるし、食堂の食事はとてもおいしくて安いし、わからないことがあれば親切に教えてくれます。

4 神戸親和大学でこれからやりたいことを教えてください。
・100冊以上の本を読む
・人前で話す力を養い、恥をかくことを恐れず、大胆さを身につけること。
・日本国内を旅行する



Q. 心理学科

1 神戸親和大学を選んだ理由を教えてください。
友だちと一緒にオープンキャンパスに参加して、心理学の中でも、ビジネス心理学や消費者心理学などの心理学に興味をもち、他の大学と迷っていたけど、親和で心理を学びたいと思ったからです。

2 神戸親和大学の印象は、入学する前と入学後は違いましたか?
オープンキャンパスに参加して、先生や先輩たちが優しく接していただき、アットホームな雰囲気がいいなと思っていました。入学後もその印象は変わらずアットホームな雰囲気です。居心地の良い大学です!

3 神戸親和大学に実際に入学してどのように思いましたか?
学科内の雰囲気がよく、仲がいいので、毎日楽しく充実した日々を過ごしています。5月に実施された「親和行事」に参加してから、友だちとの距離がより一層縮まりました!90分の大学の授業に慣れるのが大変ですが、自主的に学ぶことの重要性を実感しています。勉強でわからないところはお互いに助け合いながらがんばっています。

4 神戸親和大学でこれからやりたいことを教えてください。
ラーニングコモンズ、図書館などの大学の施設を、自分の時間や勉強に合わせて活用していきたいです。また、心理学科で実施している企業連携にもチャレンジしてみたいです。

5 今現在の将来の夢について教えてください。
元々「ものづくり」が好きなお仕事もあり、大学で様々な心理学を学び、それを活かして、商品の開発や企画に携わる職業に就きたいと考えています。



1年次生
平石 あかねさん

ユーザーの心をつかむデザインとは？



文学部 国際文化学科 河野 泉 (こうの いずみ) 教授

研究テーマを教えてください
商品やサービスを使いやすく魅力的なものにするためのデザイン手法「人間中心設計 (Human Centered Design)」。以下HCDと省略)を研究しています。人の本質的なニーズを捉えて、新しいサービスを提案する手法として体系化を進めています。

その研究分野にすすむことになったきっかけは何ですか

大学時代に、人とコンピュータとのインタラクションの在り方を考える「ヒューマンインタフェース」という授業に興味をもったことがきっかけです。当時のコンピュータは一般の人が使うワープロなどでも、とても使いにくかったので、もつと普通の人が簡単に使えるようにしたいと思ったのも要因です。

趣味や特技を教えてください

会社員時代はほぼテレワークで、これはマズイとスポーツジムに通い始めて、音楽にあわせてトレーニングを行うスタジオプログラムにはまりました。昨年大学に勤務するにあたって引越してジムは変わってしまったので、今はヨガとピラティスを中心に続けています。また、山が多い街なかを電動アシスト自転車を探索しています。神戸はパンやコーヒーが美味しいので、お店を探しながら楽しんでます。

学生と関わるうえで大切にしていることは何ですか

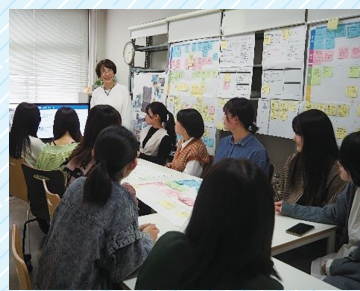
学生は、コンピュータやITの知識は無くても、日常的にインターネットやスマートフォンのアプリを使っている世代です。情報の用語や仕組みを、なるべく身近な事例と関連付

けて説明して、理解が進むように心がけています。例えば、自分が昔使っていた携帯電話を見せて歴史を説明したり、学生自身のパソコンのCPUやメモリ容量を調べながらコンピュータのハードウェアの仕組みを説明したり等です。

最後に学生へのメッセージをお願いします
学校の勉強と違って、社会に出ると教科書がなく、自分の頭で考えて行動することが大切になります。大学は自分で考える第1歩を学ぶ場です。好奇心をもって自ら情報を収集し、自分で考えて行動できる人になってください。



今年度の4年次ゼミ



ゼミ風景



グループワークの様子

● 学生から見た先生の印象・エピソードを教えてください

- 河野ゼミではユーザーにとって使いやすいサービスやシステムを作ることをテーマに、グループワークを何度も行ってきました。初めは作業の流れが上手く掴めず行き詰まることもありましたが、その度に河野先生が優しくアドバイスをくださるので、メンバー全員が積極的にグループワークに参加できるようになりました。また河野先生はメンバーの趣味にも興味を持ち、先生から声をかけてくださるような気さくなお人柄がとても魅力的です。学生に寄り添ってくださる先生なので、就職活動の相談も快く受けてくださり、とても心強いです。親身になってくださる先生の元で安心して学習することができる河野ゼミでは充実した大学生活を送ることができます!

OI

研究内容

Human Centered Design(HCD)による情報システムの魅力向上

HCDとは
神戸親和大学に来るまでは、NECというIT企業の研究開発部門、デザイン部門、マーケティング部門で、コンピュータを使ったシステムやサービスを使いやすく魅力的にする仕事を行って来ました。Webサイトの使いやすさや情報の探しやすさの研究開発、デザイン手法やプロセスの整備、社内教育のほか、デザイン視点を生かした新規事業創出やブランドの開発・運用管理なども行って来ました。

多岐に渡った対象物のデザインに共通するのが、「人間中心設計 (Human Centered Design)」。HCDは国際規格 (ISO 9241-210) にプロセスが規定されていて、プロセスごとに様々な手法があります。HCDでは、人の行動や体験を観察・分析し、人の本質的なニーズを捉え、アイデアをプロトタイプによって視覚化し、評価改善することが重要になります。製品の使いやすさを向上させたり、新しい製品やサービスを生み出したりするために有効な考え方は、

使いやすい製品サービスを作るために

「使いやすいさ」の重要性は、身近な電化製品やスマートフォン、アプリケーショなどを思い浮かべると想像しやすいくと思います。操作の効率や、作業の成否に影響し、満足感や購入理由の要因にもつながります。前職では主に、企業向けの業務システムや公共のシステムにHCDを適用して、使いやすさを実現しました。例えば、空港のフライトインフォーマーションシステム(飛行機の便名や出発時刻や行き先など、さまざまな

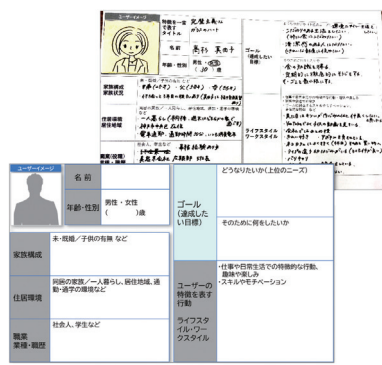
情報をディスプレイに表示するシステム)やコンビニATMなどです。

HCDでは、プロジェクトの対象ユーザーを明確にすることが重要で、製品やサービスを実際に使う人のことだけでなく、管理者として使う人、修理をする人、サービスにお金を払う人などサービスに関連する多様な人を対象にしてその特徴を明らかにしていきます。公共のシステムは多様な人が使うことができるユニバーサルデザインの観点も大事にしていて、コンビニATMの開発では、全盲や車いす、色弱の人や、妊婦さん、荷物の多い人などユーザーの状況を細かく想定して、その人たちの立場になって試作品(プロトタイプ)の評価、改良を行いました。

新しいことを生み出すために

HCDは、ユーザー視点で本質に立ち返り、多様な発想や視覚化を活用する創造的なアプローチであり、これまでにない製品やサービス、ビジネスを生み出すためにも使うことができます。サービスの企画や設計に携わる人にむけて、手法やツールをまとめ、ワークショップを何度も開催していました。

サービス企画のためのHCDでは、①ビジネス目標を確認し、②サービスの利用者や提供者などサービスに関わる人(ステークホルダー)の関係性を明確にします。そして、ユーザー調査をもとにして、③ターゲットのユーザー像を具体化した「ペルソナ」を作成します。ペルソナは架空の人物像ですが、いかにもその人物が実在しているかのように設定するのがポイントで、名前、年齢、性別、家族構成、住居環境、職業や、日常生活の特徴となるライフスタイルやワークスタ



ペルソナのフォーマットとゼミでの作成例

イル、その人が達成したい目標を記載します。ペルソナを設定することで、開発担当者は共通のユーザーイメージをもって、その人にむけたサービスを企画することが出来ます。サービスのアイデアを出すためには、④ペルソナがサービスを使う体験を視覚化する「エクスペリエンスマップ」を作成します。ユーザーが理想の姿(ゴール)にたどりつくまでの「行動、行動の背景にある心理、行動や心理から想像するニーズを記載します。そして、ニーズを充たすアイデアを出していきます。複数人でブレインストーミングを行いながらなるべく多くのアイデアを出すことが重要になります。複数のアイデアから市場性や独自性を考慮して優れたアイデアを選択して、サービスの実現手段と、提供プロセスを設計し、サービスを具体化します。



エクスペリエンスマップのフォーマットとゼミでの作成例

このような手順を踏むことによって、ユーザーニーズを捉え、ユーザー視点でアイデア発想して、新しいサービスの企画を行うことができます。サービス企画よりもさらに上流の企業ビジョンやブランドの開発にも応用でき、HCDは新しいことを生み出すために有効な手法です。

HCDによるイノベーション人材の育成へ
企業で実践してきたHCDのワークショップは、大学の授業やゼミの体験学習にも取り入れています。

神戸親和大学の学生は、人の気持ちや想像できたり、感情表現や状況の説明ができたりするなど、HCDの分野において文科系学生ならではの強みがあると感じています。

現場観察による潜在的な課題の発見、ブレインストーミングによるアイデア発想、プロトタイプによるアイデア具体化と改善は、イノベーションを生み出すための手法です。これまで企業で実践してきたHCDのデザイン方法論を大学教育の場へ適用し、新しいアイデアを取り組みたいと考えています。

知識社会を生きる 力を育む



文学部
心理学科
教授
本間 友巳
(ほんま ともみ)

研究テーマを教えてください

臨床心理学を専門としていますが、特に教育領域を中心に研究を進めてきました。この教育領域のなかでも、重要な教育課題である不登校やいじめなどで研究業績を積み重ねてきたと思います。また現在は、これまでの経験からスワールカウンセリングに関する研究や実践に力を入れています。

その研究分野にすすむことになつたきっかけは何ですか

大学院で臨床心理学を学び、教育や医療の分野での実践を行い、その後、中高の教員を勤め、さらに教育センターでの教育相談の仕事やスクールカウンセラーとして長年活動してきたことが、教育領域の臨床心理学を研究の柱にした大きな理由だと思います。

趣味や特技・休日の過ごし方を教えてください

今の趣味はソフトテニスです。ソフトテニスは中学生から10年ほど続け、私の中では青春時代のもともすばらしい思い出のひとつです。しかしながら社会人になった後は仕事に追われ、テニスとは無縁の生活を送っていました。60歳に差しかけた頃、自らの身体的な衰えを感じる中で、再度運動をしたいと思い立ち、約40年ぶりにテニスを再開しました。幸い仲間にも恵まれ、休日はテニスを楽しんでます。

学生と関わるうえで大切にしていることは何ですか

指導の主たる対象が大学院生であることから、彼らの主体性を重視しています。言い換えれば、研究のテーマに

関して、彼らの関心や意思を可能な限り尊重することを大切にしています。その一方で、実際に遂行可能な研究であるかなど、研究の具体的な方法に関しては話し合いを繰り返し、すなわち、2年間で実行可能な方法や内容へと組み替えていくことに心がけています。

今年度のゼミの雰囲気をお願いします

先に述べたように、大学院生が指導の中心ですので、ゼミ生は教員の問いかけに受身的に反応するのではなく、主体的・積極的な考えを返してくれれます。こちらからのひとつの問いかけに二つ以上の反応が返ってくるような感じと言えらるかもしれません。いずれにせよ、学ぶことの意欲と楽しさを実感できる雰囲気やゼミにはあると思います。



修了生と共に



【臨床心理面接特論】授業風景

最後に学生へのメッセージをお願いします

私個人の経験に過ぎませんが、長い人生の中で、大学時代はもともと光り輝く時間になりうるのではないかと思っています。もちろん、楽しいことばかりではないでしょう。それでも思い出に残るすばらしい時を過ごすことができる可能性をもつのが大学時代です。皆さんにとって、幸せな時であることを切に願っています。

ゼミ生からみた研究室での先生の印象・エピソードを教えてください

- 私は教育分野における臨床心理について興味があり、教育分野の専門である本間先生のゼミに入りました。修士論文では、中学や高校時代において体験した人間関係のトラブルがその後どのような影響を与えるのか、またそれらはどのようなことに関係があるのか等について研究をしようとしています。そのためゼミでは、使用尺度や内容についてどのように進めていくのか等のアドバイスを沢山いただき、指導を受けています。また、不登校やいじめについての本を貸して頂き、新たに考えたりする機会も多くありました。先生は多くの知識や経験故の考えを持っておられ、自分自身の考え方や見方を変える機会や新たに知ることも多くありました。

02

研究内容

『これまでの研究、そして今へ』

ともあれ、この研究の分析で明らかになったことは、学校を休みたくなる気持ち（学校魅力）を筆頭にいくつかの要因がありましたが、子どもたちが欠席へと至らず実際に登校を維持している主要な要因は、「学校は行かぬばならない」とか「病気がけが以外で休むこ

とはよくない」とのような登校への「規範的価値」でした。このような観念や意識が欠席自体を食い止めているとするならば、不登校になった子どもたちの多くが、とりわけ、不登校の初期に心身の不調を経験したり、他者との関係を避けるような事態に陥ったりする理由も、ある程度、説明することができそうです。すなわち、登校への「規範的価値」は欠席への歯止めとなる一方で、実際に欠席が始まると、逆に彼らの苦しみを強化する要因になってしまうのです。言い換えれば、「行かぬばならない」ところに行けない自分、よくないことをしてしまった自分」との観念に縛られ、「自分はダメな人間、価値のない人間」のような自己否定感が高まってしまふ。その結果として、心身の不調や他者との関係を回避するなどの状況が生まれてくるのです。

最近の歩み
近年は、狭義の研究よりも、これまでの研究成果を社会に還元することに力を入れていきます。いじめに関しては学会の仕事としていじめの重大事態に関するガイドライン（いじめ防止対策推進法重大事態調査に係る心理職のためのガイドライン）・日本心理臨床学会の監修を行った「教育相談のテキスト」（はじめて学ぶ生徒指導・教育相談）・金子

書房。来年4月、改訂版を刊行予定を編んだりもしました。また、教育委員会や学校への教育臨床的な支援にも力を入れてきました。今、特に力を注いでいるのがスクールカウンセラー（以下、SC）の育成です。知っている方もいらっしゃるかもしれませんが、1995年に始まったSC配置事業から30年近く経ち、今日、全国の多くの学校にSCが配置されるようになりました。しかしながら、その専門性に関して、また職務内容や働き方に関する多くの課題が残されています。それらを少しでも解決するための力になりたいたいと思立ち、数年前、研究者や実務家の有志でSCのための新たな組織を立ち上げました。この努力がやっと実り始め、本年4月からは、「日本スクールカウンセラー協会」としてスタートを切ることになりました。年齢的にみても、私にとって、これが最後の仕事になるかもしれませんが、これまで教育臨床の領域でお世話になってきたことへの恩返しも含め、微力ですが、力の限り取り組んでいきたいと思っています。



研究の関連書類

アイルランドへ

国際文化学科

1年間留学していた学生たちが帰ってきました!

2023年2月、アイルランドのコーク大学で1年間の留学生活を送った学生31名が帰国し、翌3月には帰国報告会で英語スピーチによる報告をおこないました。彼女たちは留学先で、どのような生活を送っていたのでしょうか。帰国報告会で学長賞、審査員賞をそれぞれ受賞した学生2名にお話を伺いました!



帰国報告会 学長賞
文学部 総合文化学科4年次生 (現:国際文化学科)
野上 莉央さん

休日スケジュール		他国からの留学生の友人と、日本食レストランによく遊びました。	
9:30	起床・朝食・身支度	20:00	友人が住んでいる寮でパーティ
12:00	友人とランチ	0:00	帰宅
14:30	サッカー観戦	1:00	就寝
17:00	帰宅・自室でのんびり		
18:00	夕食		

お互い得意な料理を深められた、とても大切な時間でした。

Q. 留学前のイメージと、留学中のギャップはありましたか?

話せるようになるまで、思っていたより時間がかかりました。外国人の友達がなかなかできなくて、はじめの4ヶ月くらいはずっと焦っていたように思います。

Q. 友達を作るために、どんな工夫をしましたか?

受け身の姿勢をやめて、クラスメイトに簡単な質問を投げかけるところから始めました。「どこから来たの?」とか...そこから少しずつ会話のバリエーションが増えまし、今では尊敬できる友達がたくさんいます!

Q. 留学中、一番楽しかったことは何ですか?

サマースクールです!放課後にアクティビティがあって、国立公園や観光名所にもみんなで行きました。先生もとてもフレンドリーで、本音で話してくれる関係がとても心地良かったです。



留学中仲良くなった友達と
サマースクールで食べたブレックファースト

Q. 今後の目標を教えてください。

今の英語力をキープしつつ、他の国にも留学してもっと英語力を磨きたいです。将来は英語を仕事に活かしていきたいと思っています。

Q. これから留学する後輩たちへアドバイスをお願いします。

まずは自分の支えになってくれる居場所を積極的につくってください。辛いこともあると思いますが、そこで落ち込まずに、「どうしたら楽しくなるか」を考えてみると良いですよ。きっと楽しいと思えることが増えていくはず!



帰国報告会 審査員賞
文学部 国際文化学科3年次生
大村 琴和さん

平日スケジュール		友人とはお互いの国のことや、その日あった出来事を楽しんでいました。	
6:30	起床・朝食・身支度	18:00	アジアレストランでアルバイト
8:00	登校	19:30	アルバイト終了・移動
8:30	授業	20:30	帰宅・夕食・片付け手伝い
13:00	授業終了・移動	21:30	宿題・ホストファミリーとカードゲーム
13:30	友人とコークの街で昼食・買い物・おしゃべり	23:30	就寝

ホストファミリーが宿題を見ていることもありました。

Q. 大学での授業の様子を教えてください。

少人数授業で、グループワークが主でした。レベル別にクラスが分かれていて、成果が出た分だけクラスが上がるのがモチベーションになります。はじめはクラスのレベルについていくことだけで一杯でしたが、先生が優しく指導してくださり、少しずつ上のクラスに上がっていくことができました。

Q. 英語が上達したと感じたのはどんなときですか?

ホストファミリーや友人に「最近たくさん話そうになったね」と言われたときです。はじめは何を話せばいいのかわからず顔を合わせることも緊張していたので、そう言ってもらえてとても嬉しかったです。

Q. ホストファミリーはどんな方たちでしたか?

私は二家族にお世話になったのですが、みなさん親切でよく話をしてくださいました。悩んでいるときは親身に相談に乗ってくれましたし、宿題を見てもらったり、一緒に映画に行ったり、本当の家族のようでした。

Q. これから留学する後輩たちへアドバイスをお願いします。

ただただしくてもいいから、自分の気持ちを伝えてみてください。一生懸命話そうとしていることは、現地の方たちには必ず伝わります。家族や先生、現地の方たちへ感謝の気持ちを持って、1年間を過ごしてほしいです。



アイルランドで一番美味しいと思ったアイリッシュチャー
ホストファミリーとホエールウォッチングを楽しみました
フランス人の友達と帰国後も連絡を取り合っています

1年間学生たちを見守り、励まし続けられた先生にもお話を伺いました。



文学部 国際文化学科 教授 高見 忠之

まずは全員が元気に帰国できたことにホッとしています。学生の皆さん、本当にお疲れ様でした。しかし、1年間の留学生活は第1幕に過ぎません。これから第2幕が始まると思っています。留学中、様々な文化の違いに触れ、日本での生活が当たり前でないことを実感したでしょう。また、充実した日々を過ごすだけでなく、悔しい涙を流したこともあったことと思います。これら本物の経験をしているかどうかの違いは大きく、これからじわりじわりと分かっていくはずですよ。すべての経験は確実に第2幕へつながります。辛い思い出もまとめてポジティブなものに替え、皆さんの人生がより良いものになるよう、これからも応援しています。

2022年度「アイルランド留学」の現地での様子は大学HPに掲載しています。

児童教育学科教員・学生が

日本OECD共同研究 国際共創プロジェクト

壁のないあそび場-bA-に参画



児童教育学科の教員・学生は、日本とOECD(経済協力開発機構)の共同研究の枠組みで実施されている国際共創プロジェクト「壁のないあそび場-bA-」(2022-2024年度)に参画しています。このプロジェクトでは、OECDラーニングコンパス(学びの羅針盤)で提案されているように、生徒・学生たちがエージェンシーを発揮し、2030年の世界を豊かに生きていけるように、教育の目的、学校のあり方の本質を問い直していきます。

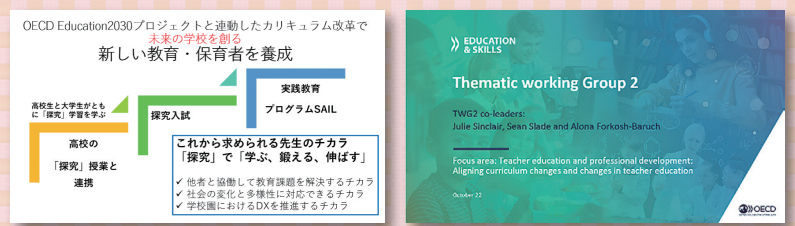
「あそび場-bA-場開きワークショップ」(2022年8月27日・28日、国立オリンピック記念青少年総合センター)で本学がブースを担当

テーマ:壁のない「あべこべの惑星」で思いっきり遊びながらWell-beingあふれる未来を体験する。日本を含む7カ国から対面で240名、オンラインで約100名が参加したワークショップに本学からは「神戸発改革まつり あべこべ先生」、「OECDことば-wa-za」、「神戸(1950-1980)過去beingステーション」の3つのブースを担当しました。



本学の教育改革がOECD Education2030「教員養成」のケーススタディとして採択されました

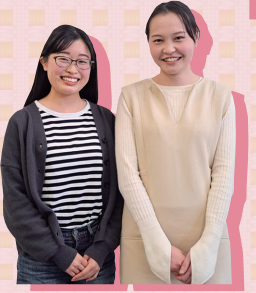
採択されたテーマは“Teacher Training Curriculum and University Reform as an Ecosystem Based on New High School-University Collaboration in Japan”(日本における新しい高大連携に基づくエコシステムとしての教員養成カリキュラムと大学改革)です。未来の学校を創る新しい教育・保育者を養成するために、教員養成カリキュラムの改革に取り組んでいきます。



教育改革がOECD報告書でケーススタディとして採択

本学学生がOECD Education 2030 Project Infinity で活躍しています

教職をめざす児童教育学科学生グループが「未来の学校や教室」、「先生という職業の魅力」、「これからの教育実習」などをテーマに、国内、世界各国の学生たちとともにワークショップを企画・運営しています。国際的な場で活躍することで、学生たちは貴重な経験を積んでいます。



参加学生の声

日本OECD国際共創プロジェクトのワークショップ開催に向け、準備段階から学校の先生や他大学の学生とミーティングを重ね、視野が広がりました。当日は、ファシリテーターを務め、議論を深めるための声かけもスキルアップできたと感じています。ワークショップを通して再認識したのは、学校での学び、経験が子どもたちに与える影響の大きさ。未来の学校は、もっと多様な学び、経験ができる場であるべきです。今後は、その理想を実現するための行動を起こしていきたいと考えています。

お知らせ 来てね!

参加者募集中です

3月25日 18:00-20:00

こうだったらいな! 職業や教育目標の志を伝えてみよう

3月29日(日) 13:00-15:00 オンライン開催

先生って魅力的なオコシト!?

「先生は魅力的!」って思ったこと、それ以外にも「オコシト」、夢中になりたい!

3月25日(土) 18:00-20:00

こうだったらいな! 職業や教育目標の志を伝えてみよう

3月29日(日) 13:00-15:00 オンライン開催

先生って魅力的なオコシト!?

「先生は魅力的!」って思ったこと、それ以外にも「オコシト」、夢中になりたい!

ワークショップチラシ

クラブ戦績

2022年度戦績

- ソフトボール部
第53回春季関西学生ソフトボールリーグ 1部リーグ戦 第8位
兵庫県大学女子選手権大会 準優勝
第53回秋季関西学生ソフトボールリーグ戦 2部リーグ 第2位(1部昇格)
- ラクロス部
関西学生ラクロスリーグ戦 2部総合8位
- バスケットボール部
関西女子学生バスケットボールリーグ戦 2部第7位
- バレーボール部
関西大学バレーボール連盟 春季1部リーグ戦 優勝(3年ぶり2回目)
第48回西日本バレーボール大学女子選手権大会 準優勝
関西大学バレーボール連盟 秋季1部リーグ戦 準優勝
栃木国体 第77回国民体育大会 いちご一会とちぎ国体とちぎ大会 第5位
PhitenCUP関西大学バレーボール男女選手権大会 準優勝
第69回秩父宮妃賜杯 全日本バレーボール大学女子選手権大会 ミキプルーンスーパーカレッジバレー2022東京大会 第4位
- ソフトテニス部
関西学生ソフトテニスリーグ戦 秋季3部リーグ戦 優勝 2部昇格
- テニス部
関西学生テニス選手権大会 予選ブロック2 優勝 本戦出場
[シングルス] 野本 蒼乃(スポーツ教育学科2年次生)
- サッカー部
関西学生女子サッカー 春季2部リーグ戦 第2位
関西学生女子サッカー 秋季2部リーグ戦 第4位
- 剣道部
第49回兵庫学生剣道新人戦 団体戦第3位 個人戦3位入賞 山本かりん(児童教育学科1年次生)
- バドミントン部
関西学生バドミントンリーグ戦 春季5部リーグ戦 優勝 4部昇格
関西学生バドミントンリーグ戦 秋季4部リーグ戦 優勝 3部昇格
- 相撲同好会
第10回国際女子相撲選抜大会 個人戦 中量級 優勝 長門 美咲(スポーツ教育学科1年次生)
全国学生女子相撲選手権大会 団体戦第3位
全日本女子相撲岐阜大会 団体戦第3位
全日本女子相撲選手権大会 個人戦 中量級 第3位 長門美咲(スポーツ教育学科1年次生)
元日相撲日本一決定戦 個人戦 中量級 準優勝 長門美咲(スポーツ教育学科1年次生)
(※学年は2022年当時のもの)

(Team Shinwa) 2023年活動状況

2023年度においても、すでに各団体において大会が繰り広げられています。各団体の戦績については、大学ホームページおよびスポーツセンターTwitterで情報発信を行っております。ご声援のほどよろしくお願いいたします!!

大学ホームページ スポーツセンターTwitter



体育総部

サッカー部

私たちサッカー部は、現在4年次生9名(マネージャー2名)、3年次生1名、2年次生5名、1年次生8名で活動をしています。普段は、大学のグラウンドや学外の人工芝グラウンドで活動を行っています。平日は夕方、土日は主に試合や午前練習をしています。

今年のチーム目標は、2部全勝優勝・1部昇格・インカレ出場です。サッカー部は、学年を超えて仲が良く、ピッチ内でもピッチ外でも学年関係なくコミュニケーションをたくさん取れることが強みです。また、目標を達成するために楽しくかつ厳しく、メリハリのある練習を心がけています。私たちを支えてくれている人たち、応援してくれている人たちへの感謝の気持ちを忘れず、サッカー以外でも礼儀やマナーを徹底し、日々活動しています。初心者の方でもマネージャーでも大歓迎です!ぜひ、私たちと一緒にサッカーしてみませんか?



気合いの入る円陣



3泊4日の強化合宿やりきりました



2023年度から男子強化クラブも始動しました!!

男子バレーボール部 キャプテン



12名でスタートした男子バレーボール部です。初代主将として伝統を作っていくとともに、応援していただけるチームづくりに徹しています。7部からのスタートですが、4年間をかけて1部リーグ優勝をめざして頑張ります! 応援よろしくお祈りします!



2023年度 大会戦績
2023年度 関西大学バレーボール部春季リーグ戦 7部全勝優勝 6部昇格

男子剣道部 キャプテン



男子剣道部は全員1年次生ながらも団体戦、個人戦共に全日本選手権に出場できるように日々稽古を重ねています! 人数は12名でみんな優しく明るいです! 興味がある人は是非見に来てください!



2023年度 大会戦績
4月16日(日) [第49回] 兵庫学生剣道大会 男子個人戦 優勝 杉原 颯一郎(スポーツ教育学科 1年次生)
ベスト8 白國 史也(スポーツ教育学科 1年次生)

男子バドミントン部 キャプテン



男子バドミントン部は4名で活動していますがこれからもっと増やしていきたいと思っています。インカレ出場とリーグ1部昇格をめざしています。ひとつひとつの練習、1球を大切に頑張っています。



文化総部

放送局



北区絵画コンクール表彰式での司会



北区役所のご協力のもと貴重な経験となりました

私たち放送局は、現在4年次生2名で活動しています。活動は部員の予定に合わせ、放送室で週に1回(主に水曜5限)行っており、無理なく参加できるようにしています。活動内容としては、学校行事の司会を主として、ラジオドラマの制作等にも取り組んだ経験があります。また学外での交流にも積極的に参加しています。昨年度は、各々がテーマに沿った作品を制作し持ち寄り、神戸の他大学の放送部の方と交流会を行いました。また、神戸市北区の絵画コンクールの表彰式の司会を務めさせて頂き、日々の活動が実を結んだ充実した1年となりました。2名という少人数での活動になりますが、少ない人数だからこそ出るアットホームな雰囲気の中活動しています。また部員の中には放送初心者も所属しており、初めて放送に触れる方でも安心して活動できる場となっています。まずは気軽に放送室までお訪ね下さい。皆様のご参加をお待ちしています!



委員会

大学祭実行委員会



2022年度 親和祭最終日 1・2・3年次生との思い出の1枚

私たち大学祭実行委員会は、現在3年次生8名、2年次生10名の計18名で活動しています。今年の親和祭のテーマは、「POP~輝きを刻んでいこう~」です。大学祭実行委員会では、毎年行われる親和祭に向けて準備、企画、運営を時に先生方にもサポートしていただきながら、学生が主体となりゼロから創り上げていきます。そのため、1年をかけて、模擬部、企画部、タレント部、渉外部、広報部の5つの部署に分かれて作業を行います。先輩・後輩の垣根をこえて仲間と協働し、試行錯誤しながらも「心に響くような親和祭を成功させる」という信念をもち作業に取り組んでいます。昨年の親和祭は1日開催となってしまいましたが、多くの方が訪れ無事成功させることができました。今年は共学になって初めて行われる親和祭です。新たな取り組みにもどんどん挑戦し、神戸親和大学をより一層盛り上げられるよう委員一丸となって頑張ります! 2023年度は、10月28日(土)、29日(日)に開催予定です。日が近づいてきましたら大学ホームページにて詳細をお伝えしていきます。ぜひ楽しみにしていて下さい。



親和祭で使用する装飾品制作に励んでいる様子



2022年度 進路状況一覧

大学全体の就職率 **98.1%** (2023年5月1日現在)

就職	教員(小・中・高・特支)	28.3%
	幼保・こども園・児童福祉等	29.3%
	企業・公務員(事務・警察・消防等)・福祉施設等	42.4%
進学	大学院	11名

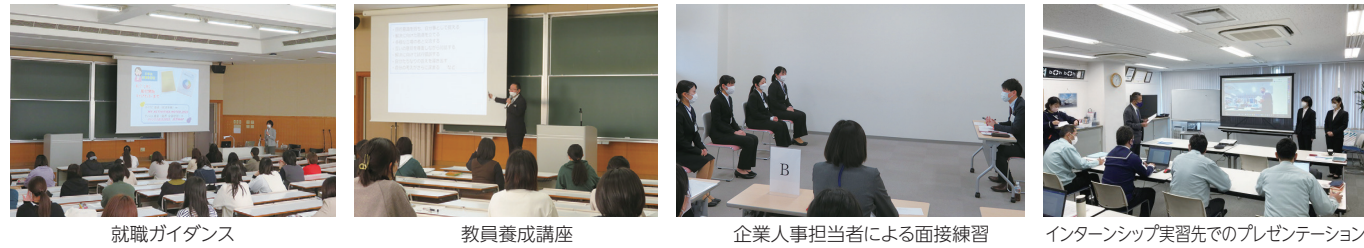
面談風景



進路相談や面接指導などキャリアセンター職員が学生一人ひとりに寄り添い就職活動のサポートを行っています。

キャリアセンター行事一覧(学生一人ひとりの自立・気づきを大切に実施)

※2022年度 実績分



就職ガイダンス

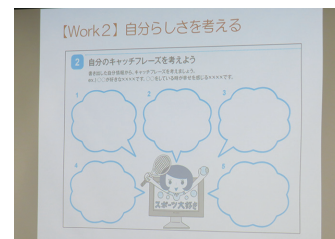
教員養成講座

企業人事担当者による面接練習

インターンシップ実習先でのプレゼンテーション

親和のキャリア支援

共通教育の一環として、初年次からキャリア形成プログラムをスタートしています。本年度から、新たな取り組みとして1年次生の必修科目: **キャリアデザイン科目「ワーク&ライフデザインI」**を開講。就職活動に向けて、具体的なアクションプランを考えるためのプログラムとなっています。今回はその授業の一コマを紹介しします。



授業内容を全員で共有(投影)

- 個人ワーク+グループワークで構成(6クラス)
- 毎回のテーマに対して自分の体験などを振り返り(思いを整理)
- 自分と他者との共同時間(他者からの学びの気づいていなかった自己の考えを発見・認識)
- 大学での学び意識や自分の言葉で語る大切さを知り、将来の進路に活かす



テーマに沿って活発な意見交換



教員へ質問する場面も……

授業の感想 第2章「自己紹介とは何かを考えてみよう」のレポートより一言

2024年度: 2年次生の必修科目「ワーク&ライフデザインII」開講予定

少しでも自分のことを話してみると共感してもらえ、初めてあった人でも仲良くなるきっかけを作ることができた。(国際文化学科)

自分自身が自分のことを分かっていないと自己紹介できないことをとても実感できた。(心理学科)

この授業を通して「考える楽しさ」を感じて、親和での大学生活を思う存分楽しみたい。(児童教育学科)

自分自身を知るだけでなく、他者を知ることの大切さを学ぶことができた。(スポーツ教育学科)



2023年3月 卒業生・修了生から一言

最初はたくさんの不安を抱えてのスタートになると思いますが、やりきった後に得られる達成感と大きな自信は、通信ならではのものです。「通信で学ぶことを誇りに思う日」が必ず来ると信じて頑張ってください。(30代)

学習時間を捻出し、仕事や家事と両立させることが難しく、入学したことを後悔することもありましたが、自分の目の前の課題や小さな目標に向けてひとつひとつ努力していくことで着実に前進し、卒業することができました。この達成感は何ものにも代え難い喜びとなりました。これまで学んだことを今後の人生に生かしていきたいです。(50代)

自分で切り拓く力というのが大いに試される場が通信教育だと改めて実感しました。どんなに辛いことがあっても、スクーリングで出会った仲間たちと励まし合ってなんとか最短で卒業することができました。先生方も、情熱的で熱心にご指導くださいました。素晴らしい先生方に出会えたことで、私も早く日本の教育を支える一員になりたいと感じました。この大学を選んで本当に良かったと思います。(30代)

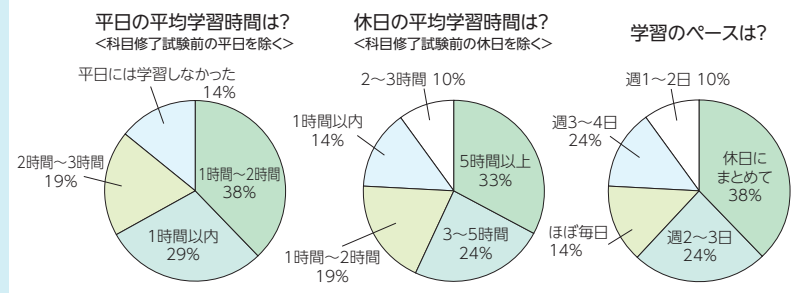
とても卒業できるとは思っていませんでしたが、とにかく一歩ずつでもレポートを書こうと思いました。続けてよかったです。(60代)



2023年度入学案内・入学要項



社会人をはじめとして広く学習の機会を提供するために、本学では通信教育部教育学部児童教育学科を設けています。通信教育部(正科生・課程正科生)の男女比は、女性8対男性2、平均年齢37歳となっており、異なる経歴を持つ方が学んでいます。下の円グラフは、2023年3月卒業生・修了生を対象に実施した「通信教育部 学習に関するアンケート」結果です。(対象者数35名、回答者21名、回答率60%)



令和5年度 公立学校教員採用試験 通信教育部における合格者数(小学校)

※令和5年3月卒業・修了(本学調べ)

のべ **18名合格**

合格者数(のべ人数)	合格者数
令和4年度	17名
令和3年度	34名
令和2年度	19名
平成31年度	17名
平成30年度	30名

<2023年度通学部入学生対象>通信教育プログラムで先生になる夢を実現できる!

たとえばこのような教員免許状取得方法もあります。(入学後別途手続き※要費用)

<p>国際文化学科の場合</p> <p>【日本語・日本文化コース】 対象者 中学校教諭一種免許状(国語)取得予定者</p> <p>【国際文化学科 日本語・日本文化コース】 でめさせる教員免許状</p> <p>中学校教諭一種免許状 + 高等学校教諭一種免許状</p>	<p>【本学通信教育プログラム併修】 でめさせる教員免許状</p> <p>小学校教諭一種免許状</p>
<p>心理学科の場合</p> <p>【本学通信教育プログラム併修】でめさせる教員免許状</p> <p>小学校教諭一種免許状 または 幼稚園教諭一種免許状</p>	
<p>スポーツ教育学科の場合</p> <p>対象者 中学校教諭一種免許状(保健体育)取得予定者</p> <p>【スポーツ教育学科】でめさせる教員免許状</p> <p>中学校教諭一種免許状 + 高等学校教諭一種免許状</p>	<p>【本学通信教育プログラム併修】でめさせる教員免許状</p> <p>小学校教諭一種免許状 または 幼稚園教諭一種免許状</p>